

～ みどりあふれる中でなごやかに暮らせる郷 佐世 ～

佐世 かわこ だより



No.65

令和3年1月28日

発行：佐世地区振興協議会
TEL&FAX (0854) 43-2110
E-mail: sase-c@hotmail.co.jp

謹賀新年

新年のごあいさつ

佐世地区振興協議会 会長 高橋 敬二



明けましておめでとうございます。

皆様にはご家族お揃いで新しい年をお迎えになられたこととお喜び申し上げます。

去年は、降雪もなく穏やかな年明けとなったかにみえましたが、新型コロナウイルス感染拡大が続き、政府による緊急事態宣言が発出されるなど、かつて経験したことない状況の中で「感染拡大予防のための三密回避」のため、長期間にわたる学校や幼稚園の休業、外出の自粛、集会・イベントの中止など社会生活へ大きな影響を与えました。

当協議会においても「佐世げんき祭り」をはじめ、主要行事を相次いで中止せざるを得なくなるなど、厳しい運営を強いられました。

そうした中でも、佐世地区においては、西阿用地内から川井峠に至る佐世農道工事が始まる一方で、永年の懸案でした市道佐世線西阿用地内未改良区間の測量・概要設計が出来上がり、全体の線形も具体化され、整備に向け大きく踏み出した一年でもありました。

新しい年を迎え、まだまだ、新型コロナウイ

ルスの感染拡大が続き収束も見通せないなかではありますが、佐世地区の一層の発展のためには、若者の定住を促進することが不可欠であり、一昨年から要望してきている新たな住宅団地造成の早期の実現を図る一方で、小学校の放課後児童クラブや幼稚園の延長保育等、就学・就園環境の整備を図り、安心して暮らせる地域を目指さなければなりません。

このほか、農業問題やさらなるインフラ整備等佐世地区として取り組むべき課題は多くありますが、関係各位の格別なるご協力をお願いする次第です。

新型コロナウイルスが早期に収束することを祈りつつ、この一年が皆様にとって希望多き、繁栄の年となりますよう

心からご祈念
申し上げます。



毎年、年初に来賓の方々をお迎えし、地域の皆様と共に開催していました佐世地区新年賀会はコロナ渦ということで本年はやむなく中止させていただきました。

本年も引き続き、佐世地区振興協議会にご協力とご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

地域振興部

佐世げんき祭り をふりかえりまショー

あ～ 気持ちいい！
体が楽になったわ～

みんなで佐世のびのび体操



さいころゲームでたまごゲット



ピンを倒してトイレ
ットペーパーゲット
のためがんばーよ

若かったね～
こんな時もあ
ったね～



佐世文化祭からの写真



ボーリングゲーム

今年は新型コロナの影響で各種会合や事業が中止となり、『佐世げんき祭り』も中止になりました。

このような状況でもなにかできることはないかとの声があがり、『佐世げんき祭りをふりかえりまショー』を開催しました。

開催にあたっては三密にならないように、11月17日(火)～19日(木)、21日(土)・22日(日)、介護予防はつらつに併せて27日(金)と6日間に分け、午前10時から1時間でできることを考え、換気や手指消毒、ゲーム中は手袋をつけてもらうなど衛生管理に配慮して開催しました。

『佐世文化祭』から『佐世げんき祭り』に変わって10回の開催があり、その間撮りため

た写真をスライドショーにし、また20年前からの『佐世文化祭』当時のアルバムも自由に見ていただきました。「なつかしいねえ」「若かったねえ」と話に花が咲きます。

スライドショーの後は、佐世のびのび体操や足じゃんけん、ペットボトルでのボーリングなど縮こまりがちな身体や頭を使い心身ともにリラックス。

人数制限、事前予約での参加という初めての試みだったので参加者は6日間で81人でしたが、「久しぶりに顔が見られて良かった」「身体を動かして良かった」「話ができて良かった」と好評で、ゲームの景品もあり、笑顔がいっぱいのイベントになりました。



生活学習部

男の料理教室



11月17日(火)大東町神田町の藤原鮮魚店藤原修二さんを講師に迎え、魚を使った「男の料理教室」を開催し、おおむね60代の男性7名の参加がありました。

当日は、はまちの三枚おろしのやり方、サケのホイル焼き及びみりと味噌を使った簡易な味噌だれ作りを教わりました。

参加者は、今まで我流でやってきた方や初めての方もあり、包丁の使い方、刃の入れ方など指導いただくと、「なるほど」「そうやって切るときれいにできるんだ～」などと感心しながら料理を楽しんでいらっしゃいました。



アレンジ花教室



12月20日(日)、雲南市三刀屋町の「石飛生花店」石飛正枝さんを講師に迎え、11名の参加により、生涯学習部事業「アレンジ花教室」を開催しました。

講師先生の指導のもと、松、菊、オンシジウム、カスミソウ、センリョウ等を使い、お正月用に玄関口等へ飾る「アレンジ花」に挑戦。講師先生の言われるように活かしていても、個々の作品は個性にあふれる華やかなアレンジ花となりました。

お弁当のお届け



11月25日(水)、佐世ボランティアクラブ四葉会では、75歳以上のひとり暮らしの方と80歳以上の2人暮らしの世帯へ見守りを兼ねて手作り弁当をお届けしました。コロナ禍なので衛生面ではいつも以上に気を配り、会話は小さな声で控えめ…いつもとは違った雰囲気です。

お弁当が出来上がると、手分けして民生児童委員の方と一緒に各家庭を訪問し、マスクを添えてお渡ししました。

近況のお話もでき、なによりも皆さんの元気な姿に安心しました。

総務部

令和2年度 ふれあい補助金交付事業が決定しました

佐世地区ふれあい補助金は佐世地区の自治会及び地域内で活動する団体、グループを対象に資金を補助する制度です。本年度後期申請のあった5件の事業について、令和3年1月14日（木）に審査会を開催し、4件の事業に交付が決定しました。交付決定事業は次のとおりです。

- 免別自治会 防災用品整備事業「自治会公民館へ設備」
- 若木自治会 踏み台、手摺設置事業「自治会公民館へ設置」
- 狩山自治会 座椅子整備事業「自治会公民館へ設備」
- 潤谷自治会 座椅子整備事業「自治会公民館へ設備」

補助金は、1団体50,000円を上限に事業費の10分の8以内を補助しますが、年度内の重複交付はできません。

今回の申請では、防災用品整備・踏み台、手摺の設置・座椅子の整備などの事業に交付が決定となりました。補助金は佐世地区の皆様から頂きました寄付金を財源とし、地域福祉を中心とした佐世地区の活性化などに関わる事業を対象に交付されています。

（例）地域の福祉活動、防災備品の準備、伝統文化の伝承、専門家講習会、案内板設置など

今年度は、403,000円を予算とし、前期募集分と合わせて10件の申請が提出され8件の事業について交付が決定され、309,600円が補助金として地域のために使われました。



来年度も継続して実施する事業としていきますので『みんなでアイデアを出し合い』安全で安心な住み良い地域づくりのきっかけとしてご活用いただけたらと思います。

四葉会のみなさま、綺麗にしてください ありがとうございました

12月7日（月）、交流センターの年末環境美化をボランティアクラブ四葉会のみなさんにさせていただきました。

当日、朝9時に会員の皆様が集まり、研修室・調理室の窓ガラス拭きや食器の洗浄など寒い中、手際よく綺麗にさせていただきました。また、職員も一緒に外回りの窓ガラスの洗浄など、普段手の届かない場所の清掃を実施しました。約2時間の作業で交流センターの中も外も綺麗になりました。四葉会の皆様ほんとうにありがとうございました。



12月16日、大東ライオンズクラブ様から非接触式自動手指消毒噴霧機を寄贈していただきました。交流センターでは早速、便利で簡単に消毒ができる噴霧機を入り口に設置しコロナ感染予防として来館の皆様にご使用いただいています。



ご寄贈ありがとうございました。

2月・3月行事予定

2月

- 7日(日) 第49回地区卓球大会(体育部)(中止)
- 13日(土) サロンスタッフ研修会(福祉部)
- 18日(木) 佐世子育てサロンぽっぽ(福祉部)
- 21日(日) 防災、救命救急研修会(総務部)
- 24日(水) 大東町地域自主組織連絡協議会(総務部)
- 下旬 総務部会

3月

- 11日(木) 佐世子育てサロンぽっぽ(福祉部)
- 13日(土) スプリングコンサート(地域振興部)
- 22日(月) 大東町地域自主組織連絡協議会(総務部)
- 下旬 総務部会



善意に感謝します

【香典返し】 森山 弘 様 (宮下自治会)
八幡垣俊芳 様 (中筋自治会)

【見舞い返し】 稲田 菊子 様 (後谷自治会)
松浦 君子 様 (狩山自治会)

ありがとうございました

皆さまからのご寄付は、佐世地区活性化のために役立てさせていただきます。